

名称 : 「ビジネス・プロセス・ダイナミクス研究分科会(2004)」

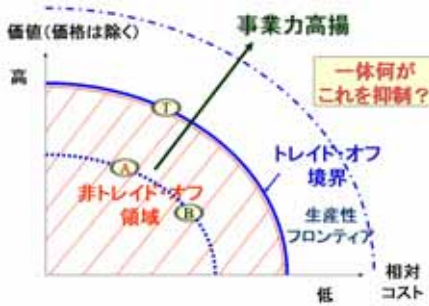
- サプライ・チェーンの分析 -

森田主査の研究テーマの提案骨子 : 森田道也 (学習院大学 経済学部 教授)

今日の経営の焦点

価値/対価の最大化

提案テーマ : 「サプライ・チェーンの分析」



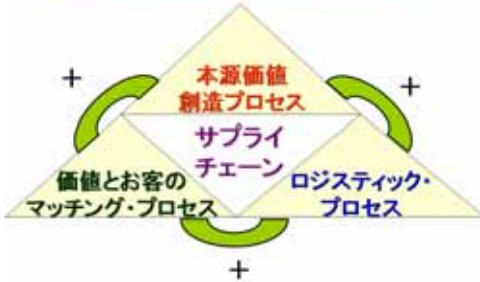
相対コストを横軸に、価値を縦軸にとると、円弧上のトレードオフ境界線上で企業経営を行う例が多い。しかし、真の事業力高揚は、この内の円弧から外の円弧に向かって移ることである。これが困難なのは、何が抑制しているからであろうか？

活動のつながり(リンケージ)
(Operational Fit)



事業力高揚を可能とする企業は業務活動にリンケージが明確に存在する。業務活動である開発、調達、生産、販売に相当する要素は業界によらず存在しているが、事業力高揚を可能とする企業では、それらが Top Management Leadership(TML)で結び付けられ、ビジネス展開のシナリオが存在している。

ビジネス・プロセスのつながり



業種が違って事業は3つのプロセスから成り立っており、そのプロセスをつなぐのがサプライ・チェーンである。一般にサプライ・チェーンと言うとロジスティックに視点を置きがちだが、ここではビジネス・プロセスの相互接続を総称してサプライ・チェーンと定義する。

サプライチェーン	
本源価値創造プロセス	価値の修正・学習・創造の梃子付与
価値とお客のマッチング・プロセス	お客との相互作用の梃子付与
ロジスティック・プロセス	柔軟性・適時性・生産性の梃子付与

3つのプロセスにおけるサプライ・チェーンの機能の要点を左図で占めず。参加者の業界毎にサプライ・チェーンの分析を実施したい。その際、プロセスにおける遅れの研究が大切になってくる。それは以下の3つであると考える。

- (1) 遅れの本質
- (2) 遅れの制御
- (3) 遅れの解消